

## 夜間町長室開放を実施しました

令和4年度第6回夜間町長室開放を、10月25日に実施しました。  
今回は3人の方が訪れ、町長と懇談しました。

### <来庁者からの要望・意見>

「農業生産資材高騰対策対応に関する請願書」が10月12日に開会された第3回臨時町議会で可決されましたが、訓子府町農民連盟を代表して生産者の思いを直接町長に伝えたく、夜間町長室にきました。

現在、酪農家を取り巻く環境は非常に厳しく、管内でも離農者が続出している状況です。飼料の価格高騰に加え、子牛の販売価格暴落などの事情によって収入が激減しており、特に雄牛の販売価格の下落はひどく、売っても赤字になるため、やむを得ず出産直後に獣医師に薬殺を依頼しているケースもあります。

国や道に直接、生産者の声を届けるために、国会議員や道議会議員・農林水産省幹部とのオンラインでの意見交換会に参加し、現状を伝えるなどの努力をしていますが、町の基幹産業である酪農業を守るためにご支援いただきたいです。

また、町内酪農家の組織である訓子府町酪農振興会と連携して要請活動を行っていききたいです。

### <町長の発言>

6月、7月の大雨や降ひょうの被害も含め、農業や酪農業を取り巻く現状は厳しいですが、私はどんなときも「町民に寄り添う町長」でありたいと心掛けています。

11月に東京出張を控えており、「北海道酪農振興町村長会議中央要請」への参加ならびに、武部代議士との懇談会も予定していますので、生産者の生の声を届け、具体的な支援をいただけるように要請し、それを踏まえたうえで、町として支援していききたいと考えていることをご理解いただきたいです。

令和4年度第7回夜間町長室開放を11月10日に実施しました。  
今回は3人の方が訪れ、町長と懇談しました。

### <来庁者からの要望・意見>

町長に直接お会いしてお伝えしたいことがあり、「訓子府町メロン振興会」を代表して夜間町長室にきました。

現在、メロン生産農家を取り巻く環境は非常に厳しく、生産者の高齢化や後継者不足などで、生産者が年々減少しています。町や農協をはじめ、関係機関からさまざまな支援をいただいている中で、このような現状であることを大変心苦しく思っていますが、町を代表するブランドである「くんねっぷメロン」を守るために、町に次の3点についてご支援いただきたいです。

①町民向けメロンPRチラシの作成支援 ②メロン種子代の支援 ③蜂箱代の支援

### <町長の発言>

できるだけ早急に、担当課を中心に関係機関と連携し町として支援を検討したいと考えていますので、ご理解いただきたいです。また、必要経費については来年度予算に計上する予定です。今後も相談があれば、遠慮なく担当課に伝えてください。

今月の夜間町長室開放は12月14日(水)です ご予約は総務課(☎47-2112)まで



開設時間 18時30分～20時30分

## 受章おめでとうございます

令和4年秋の褒章で佐藤好広さん(大町)、秋の叙勲で山田稔さん(旭町)の2人が受章されました。それぞれの分野で長い間活躍され、町の発展に大きく貢献されています。

### 藍綬褒章(消防功績)

佐藤 好広さん(大町 69歳)

### 町の消防団活動に尽力

佐藤さんは、昭和56年に訓子府消防団に入団、分団長を経て平成27年から現在まで副団長を務めています。

「あっという間の42年間でした。家族の理解と協力のおかげで、今まで続けられました。消防団活動を通して、自分自身が成長できたことに感謝しています」とこれまでの活動を振り返っていました。

副団長として災害時には的確な判断で部隊を統率し、被害を最小限に食い止めるなど、優れた統率力や判断力を発揮するとともに、団員の育成に尽力されています。

「ボーイスカウトの指導員を通して消防団活動に関心を持ったことが、入団のきっかけです。過去に、火災発生時にポケットベルの呼び出しで団員が現場へ迅速に駆け付ける「特科隊」の一員として活動したことも、良い経験となりました。今後は、後継者の育成に力を入れていきたいと考えています。放水訓練など、基本的な消火活動を中心に、これからも日々の訓練に取り組んでいきたい」と話し、「団員には、自分の住むまちの防火活動に常に関心を持ち、『自分たちのまちは、自分たちで守る』という意識を常に持ち続けてほしいですね。私も元気なうちは、消防団員を続けていきます」と力を込めていました。



### 瑞宝双光章(自治功労)

山田 稔さん(旭町 84歳)

### 町の振興と発展に尽力

山田さんは、昭和32年に町職員として奉職後、平成7年から平成15年まで2期8年にわたり助役を務め、平成19年から令和元年までは3期12年、代表監査委員を務めました。

「今回の受章は、諸先輩方や職場の仲間をはじめ、多くの関係者のおかげです。今まで支えてくれた家族には感謝しています」と受賞の喜びを話していました。

現在も「町史編さん委員」として、令和8年の完成をめざして「良いものを完成させたい」との思いを胸に、編さん業務に携わっています。

「町職員時代、特に印象に残っている業務として、広報コンクールの全道で特選、全国で入選したこと、役場庁舎の建設やレクリエーション公園の造設などに従事したことが挙げられます。町民に喜ばれる仕事をしたいという思いを軸に、常に町民の立場で考えながら仕事に取り組んできました」と振り返り、「町職員には、日常のささいなことを大切にしながら、業務に取り組むように心掛けてほしいですね。町の仕事は町民と一緒に取り組んでいるということを忘れずに、町民に信頼される職員であってほしいです」と話していました。



## 功績をたたえ功労者等顕彰式

訓子府町功労者等顕彰式が11月3日、町公民館で行われました。

顕彰条例による功労表彰が2個人、善行表彰が2個人。さらに町教育委員会表彰の文化・スポーツ功労賞が1個人1団体、奨励賞が3団体。いずれの受賞者もそれぞれの分野で活躍、あるいは町の発展のため尽力されました。

式では、受賞された方1人ずつに表彰盾などが手渡され、会場を訪れた関係者らから祝福の大きな拍手を受けていました。

